

名古屋芸術大学 芸術学部デザイン領域 公開講座

NUA textile lab 2nd Season

シンポジウム「テキスタイル産地のこれから ローカル&グローバル」

とき 2017年11月21日(火) 13:10~16:20

ところ 名古屋芸術大学西キャンパス B棟視聴覚室
愛知県北名古屋市徳重西沼 65番地

日本のテキスタイル産地は、世界基準の高い技術力を有し、欧州のファッションハイブランドに採用される程の高い評価を得ています。

その一方、アジア諸国が生産する安価な製品に圧されて生産量が落ち、産地の衰退や職人の後継者難は深刻です。

このような状況に対して、様々な産地で今までの産地のしくみを変え、デザイン力を高めることで問題解決をはかろうとする動きが出てきています。そのひとつに、今秋東京で本コース卒業生小島日和さんが企画した、全国のテキスタイル産地で働く若手デザイナーの展示会「NINOW (ニ・ナウ)」があります。

2017年度特別客員教授の齋藤統先生と2016年度特別客員教授の宮浦晋哉先生を迎え、「NINOW」のメンバーと共に、テキスタイル産業のこれからについてパネルディスカッションを行います。

齋藤 統 Asian European Consulting Company 代表取締役社長

2017年度名古屋芸術大学特別客員教授。

1949年東京生まれ。1980年山本耀司氏のワイズ社パリ拠点として、Yohji Europe社を設立し社長に就任。1997年 Joseph Japon 社社長に就任。2007年 Issey Miyake Europe 社社長に就任。2008年 フランス政府より教育、文化普及に貢献した人物に与えられるフランス芸術文化勲章を授与。2017年東京ファッションテクノロジーラボ理事長。

宮浦晋哉 ファッションキュレーター

2016年度名古屋芸術大学特別客員教授。

1987年、千葉県生まれ。杉野服飾大学卒業後に渡英して London College of Fashion でファッションコミュニケーション学を専攻。2012年「Secori Gallery」創業。2013年東京に「セコリ荘」を開店。2015年「セコリ荘金沢」を開店。神戸ファッション美術館で展覧会「染織産地の歩き方」を開催。2016年名古屋芸術大学で「NUA Textile lab」を発足。2017年株式会社糸編設立。「産地の学校」開校。「TEXTILE JAPAN」始動。

小野圭耶 播州産地 テキスタイルデザイナー 東播染工株式会社

「NINOW」メンバー。

1985 年兵庫県西脇市生まれ。2006 年上田女子服飾専門学校を卒業後 帰郷。
[hatsutoki]のテキスタイルデザイナーを経て、2016 年東播染工株式会社に入社。糸染め・織・加工まで綿織物の一貫生産を誇る工場にて素材開発をスタートさせる。西脇という織物産地に育ち、個性ある職人さんの人柄に魅了され織物の世界に入りました。モノが生み出されるまさにファッションの源流だと感じました。しかし、繊維産地とファッション業界の距離は今だ縮まりません。同世代の職人やデザイナーとの勉強会や、原料であるコットンを栽培する活動などを通し、新世代のコミュニティを広げています。

小島日和 尾州産地 テキスタイルデザイナー terihaeru

「NINOW」メンバー。

1992 年 愛知県生まれ。2011 年 名古屋芸術大学デザイン学部入学。2013 年在学中にテキスタイルブランド「terihaeru」を立ち上げる。2015 年同大学テキスタイルデザインコース卒業。「カナレ」足立氏に師事し、デザインや企画そしてションヘル織機を動かして生産を行い、オリジナルテキスタイルを制作している。私は大学時代に尾州産地と出会い、(有)カナレ足立の作るテキスタイルに強く惹かれました。当時、ションヘル織機の良さや職人がもう 80 歳を超えていること、繊維産業が厳しいことを教えてもらい「なぜこんなに良いものが消えなくちゃいけないんだろうか?」と疑問に思ったことが今に繋がっています。布は常に生活に欠かせないものです。しかもションヘル織機が作る布は、言葉では言い表せないほど感動的な布を生み出します。古い織機が新しいテキスタイルを生み出し、テキスタイルの流通を新しくすれば、今の現状が打破できると考え、大学を卒業してから足立の元で「canale2」として企画から生産まで教えてもらいながら、テキスタイルブランド「terihaeru」を運営しています。

田畑知著 尾州産地 テキスタイルデザイナー 中外国島株式会社

「NINOW」メンバー。

1985 年三重県出身高校卒業後、旅館・ホテルで 6 年勤務後、長年の夢であったデザインを学ぶべく 2011 年名古屋芸術大学入学。2015 年同大学テキスタイルデザインコース卒業。在学中に尾州織物、そこで働く方々に出会い、魅了され、産地に入ることを決める。2015 年中外国島株式会社入社。紳士スーツ地や婦人服地の企画に携わる。

加工前後で、がらりと表情を変えるウールに魅力を感じ、ウール主体の企画に奮闘する毎日です。織物になる過程を分業し、産地全体で成り立っている尾州にはたくさんの方が関わっています。一つ一つ足を運び、自分の言葉で伝えること、目で見て、手で触って確認する事を大切にしています。

主催 名古屋芸術大学テキスタイルデザインコース
共催 (公財) 一宮地場産業ファッションデザインセンター
日本毛織物等工業組合連合会
尾州テキスタイル協会
後援 一宮市
名古屋芸術大学後援会

NUA textile

名古屋芸術大学テキスタイルデザインコースは、東海地域唯一の染めと織りの専門コースです。デザインの力によって、地元テキスタイル産地に貢献するデザイナーを積極的に育成しています。2005年より大学近郊の有松絞り産地、名古屋帽子、尾州毛織物産地と産学連携テキスタイル開発プロジェクトを行ってきました。今回のシンポジウムに関連する2016年より始動した尾州産地との産学連携プロジェクト「NUA textile lab」は、学生がデザインした生地を尾州産地で生産し、東京でのファッションメーカー対象の受注展示会に出品することで、学生のアイデアを通して尾州産地の魅力を広く発信します。

この講座は外部の方に公開します。
聴講希望は下記までお問い合わせください。

名古屋芸術大学 テキスタイルデザインコース 扇、小久保まで
481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼 65
tel: 0568-24-2896 fax: 0568-24-0825
mail:chika@nua.ac.jp
face book: NUAtextile